

カメラスケッチ

～里山の植物、
病院探検、緑化フェア～

新津丘陵を未来に継承

『里山の植物』の発刊

このたび、石沢進さん（新潟大学理学部教授）が新津市内の丘陵地の植物や群落、森林現状をまとめた冊子『里山の植物』が発刊されました。

石沢さんは、市内の丘陵地を県立植物園の野外の博物館と位置づけ、新津丘陵（里山）の自然を見直すために、調査や研究に力を注いできました。同冊子は「野生植物（種子植物）」「野生植物（シダ植物）」「植物と生活」など六章で構成され、写真も織りまぜながら、植物豊かな新津のまちを「紹介」、その遺産を未来に継承していくことをメッセージとして送っています。

『里山の植物』は、定価三千円で、市内各書店で販売されています。



沐浴に、車いす散歩

夏休み病院探検

八月七日、夏休み病院探検が市内の病院で行われ、二十五名の子どもたちは半日かけて病院の現場を体験しました。

当日は、最初に聴診器の使い方を学んだ後、産婦人科病棟に移り、生後六日目の赤ちゃんの沐浴を見学しました。「赤ちゃん

の沐浴は五分くらいです」と助産婦が話すと、「へえー、五分でいいの」と興味を示す子どもたち。最後に、車いすに患者を乗せて病院内外の散歩実習をしました。参加した小学生の一人は「赤ちゃんも患者も弱い立場だから、それを支えるのが病院なのかな」と、少し大人になった半日だったようです。



3Dシアター（緑化フェア）

一万入目は燕市の男の子

八月十六日、全国都市緑化にいがたフェア・新津会場の3Dシアター「緑の惑星グリーンプラネット」の入場者が一万人を突破しました。

記念すべき一万入目となったのは、燕市にお住まいの金子典弘さん。当日は家族五人で新津会場を訪れました。金子さんは「一万入目の入場者」と聞き、一瞬びっくりしましたが、同シアターのコンパニオンから記念品や、マスコット人形のいない笑顔を浮かべて記念写真に納まっていました。

当日はあいにくの雨でしたが、記念セレモニー後も、典弘

さんをはじめ金子さん一家は思わぬ「プレゼント」を話題にしながら、緑化フェアを楽しんでいました。



防災情報・地域情報はエフエム新津で

見きにゃね！ 98チャットカラオケ大会 9/20(日)

緑化フェア新津会場内 12:30～14:00

(水) (四) (五) (土) (日) で開催！

ゲスト/男・美空ひばり 一条 五郎

ご来場のみなさまにプレゼントが当たる！ 空クジなし！！